

子供の成長を見守るLDKを増改築で実現

愛知県 丁邸

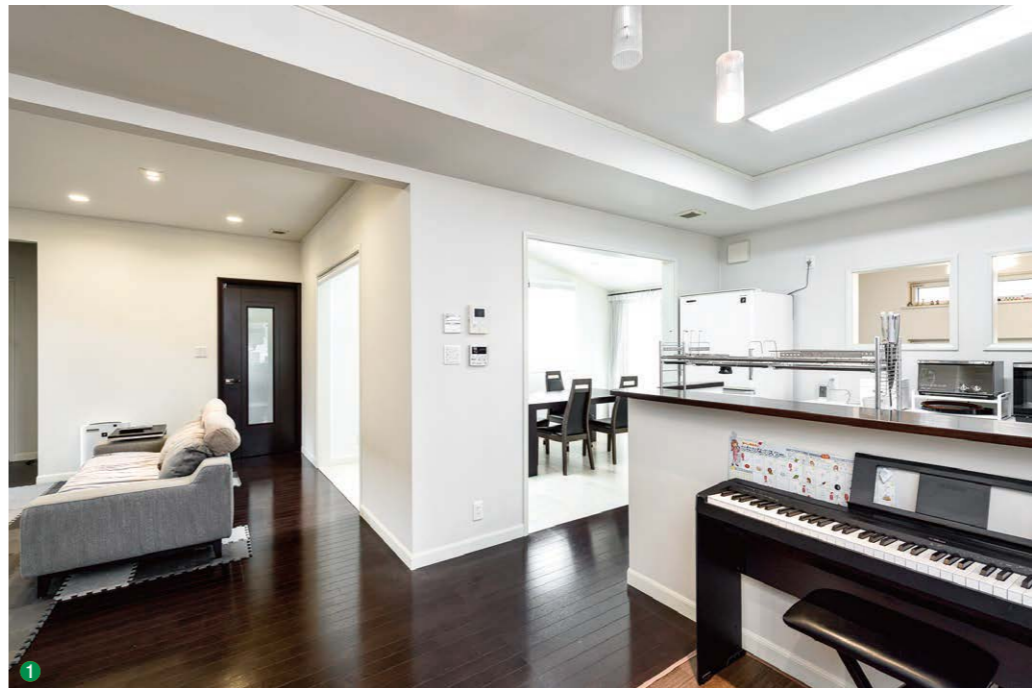
■子供の成長に伴い、増築を計画

夫婦二人住まいのときには快適だったオープンLDKが、お子さんたちの誕生・成長を経て手狭になり、「リビングにはおもちゃ、食卓には勉強道具がいつも広がってしまうので困っていました」と語るTさん夫妻。お二人は子供たちの今後の成長も見越して庭への増築を構想し、家を建てた住宅会社が築後10年点検に来た折に相談されました。

■スペースを拡張し、LDK空間を再構成

ツーバイフォー住宅の設計基準、地盤状況と基礎設計の総合的な判断のもと、T邸では1階が約20㎡増築され、リビングの南側にダイニング、キッチンの南側にスタディールームが新設されました。ダイニングがあったキッチン前はプレイルームとなりました。

床面積を広げ、くつろぎ・食事・勉強・遊びの各機能を明確に分けたプランにより、つねにすっきりと整うLDKが誕生。既存開口が活かされ、各空間がつながり合うのも特長です。「遊びと勉強の場がキッチン前後にあるので、調理中は正面に下の子が遊ぶ姿が見えると同時に、背面の窓越しに上の子の気配も伝わります」と夫妻は笑顔で語ります。



1 以前、ダイニングだった空間はプレイルームに代わり、ピアノが置かれた。ダイニングは正面の増築スペースに新設され、右手のキッチンの後ろにもスタディールームが増築された。元々サッシが入っていた開口を生かして、ダイニング、スタディールームとのつながりをもたせた。



増築部分(左手前)にはなだらかな傾斜屋根が採用され、既存の外観デザインとの調和が図られた。左側の空きスペースには、将来ウッドデッキがつけられる予定。



南東から見たリフォーム前の外観。

キッチンを囲むようにダイニングとスタディールームが増築された。スタディールームにはデスクと本棚が造り付けられ、カーテンの奥はクローク。アーチの入口はお子さんのお気に入りだという。



5 スタディールームではおさんの勉強をみながら大人も読書等を楽しめる。上部の開口がキッチンとつながる室内窓である。



4 増築されたダイニングは勾配天井の伸びやかな空間。トップライトが設置され、隣接するリビングも明るい空間になった。

くつろぎ、食事をする、勉強をする、遊ぶ場所が明確になり、おもちゃが散らかっていたリビングが整然と保てるようになった。



6

リフォームのプロが語る

暮らし始めてからの「気づき」を大切に長く愛される増改築提案を

三井ホーム(株) 中部オーナーサポート部

何度も打合せを重ね、吟味を重ねて建てた家——それでも実際住んでみると「こうすれば良かった」と思うのは、よくあることです。T様邸ではお子様の成長に伴い来客の機会が増え、LDが手狭になったという暮らしの変化もありました。また、建物がL型であるということに加え、南側隣地が1m程高く、リビングの奥まで光が届かないというお悩みもありました。そこで、増築したダイニングのトップライトでリビングへも光を届け、ツーバイフォー工法の良さを生かし勾配天井にしてすっきり開放的に。

「理想の家は3回建てて初めて実現する」とはよくいわれますが、T様邸では10年目の増改築で満足を持続し続けることができたようです。

After
Before

DATA

リフォーム年 / 2018年3月 築年数 / 10年
規模 / 2階建て
建物面積 / 148.68㎡ 増築面積 / 19.04㎡
設計・施工 / 三井ホーム(株)